

彙報

会長 田 窪 行 則

——常任委員会——

2020 年度臨時常任委員会（拡大版）

日 時：2020 年 4 月 18 日（土）13:00 ～ 15:00

場 所：ウェブ会議

出席者：田窪行則（会長）、小野尚之、江口 正、久保智之、桐生和幸、千田俊太郎、中谷健太郎、野田尚史、福井直樹、米田信子、渡辺 己（以上、常任委員）、有田節子（事務局長）

オブザーバー：井上 優（編集委員長）、伊藤さとみ（大会運営委員長）、小泉政利（広報委員長）、酒井 弘（大会実行委員長）、金城由美子、早田清冷（以上事務局委員）
（欠席：菊澤律子 常任委員）

[審議事項]

- (1) 第 160 回大会の開催について
 - ・第 160 回大会の通常開催を中止し、予稿集の公開を以て研究発表とみなすことを決定した。大会発表賞については、審査希望者は音声つきスライド・動画等を提出し、審査を行うこととした。
- (2) 2020 年度夏期講座について
 - ・2020 年度夏期講座は中止し、次回を 2022 年度開催予定とすることを決定した。
- (3) 人間文化機構国際賞の推薦について
 - ・柴谷方良氏を推薦することを決定した。

2020 年度第 1 回常任委員会

日 時：2020 年 5 月 23 日（土）13:00 ～ 15:00

場 所：ウェブ会議

出席者：田窪行則（会長）、小野尚之、江口 正、久保智之、桐生和幸、千田俊太郎、中谷健太郎、野田尚史、福井直樹、米田信子、渡辺 己（以上、常任委員）、有田節子

（事務局長）

オブザーバー：伊藤さとみ（大会運営委員長）、小泉政利（広報委員長）、金城由美子、早田清冷（以上事務局委員）
（欠席：菊澤律子 常任委員、井上 優 編集委員長）

[報告事項]

- (1) 今期の組織・役員について
 - ・今期の組織・役員が資料によって確認された。
- (2) 今後の大会開催予定について
 - ・以下の予定が報告された。
 - 第 160 回大会（2020 年春季大会）：2020 年 6 月 20 ～ 21 日、予稿集（PDF 版）のウェブ公開
 - 第 161 回大会（2020 年秋季大会）：2020 年 11 月 21 ～ 22 日（予定）、東北学院大学（大会実行委員長：豊島孝之氏）
 - 第 162 回大会（2021 年春季大会）：（日程未定）、早稲田大学（大会実行委員長：酒井弘氏）
 - 第 163 回大会（2021 年秋季大会）：（日程未定）、沖縄国際大学（大会実行委員長：西岡敏氏）
- (3) 2020 年度科学研究費研究成果公開促進費の結果について
 - ・研究成果公開促進費（国際情報発信強化）が採択されたことが報告された。
- (4) 各種委員会からの報告
 - ・本彙報の各委員会の項目を参照。
- (5) 事務局からの報告
 1. 『言語研究』の公開入札について
『言語研究』第 158 号、第 159 号の出版について、5 月 7 日公示、6 月 8 日締め切り、10 日開札の予定で一般競争入札を行う。
 2. 九州北部豪雨、台風 15 号、19 号で被災された会員に対する会費免除について今年度も継続する。
 3. 今年度のメルマガスケジュールについて
今年度のメールマガジンの配信予定内容を確認した。

4. CIPL 文献リスト作成作業について
現在、平子達也氏に依頼している文献リスト作成を、次期、新たな担当者に依頼する方向で検討する。
5. 日本学術振興会学振賞について
内藤真帆氏(愛媛県立医療技術大学講師)を推薦した。
6. 日本学術振興会育志賞について
該当者がなく推薦を見送ることが報告された。
7. 人間文化研究機構日本研究国際賞について
柴谷方良氏(ライス大学教授)を推薦予定である。
- (3) 2020 年度言語の多様性に関する啓蒙・教育プロジェクト(採否)について
・3 件の申請について、メール審議により 2 件を採択としたことが報告された。
- (4) 2019 年度言語の多様性に関する啓蒙・教育プロジェクト実施報告について
・2 件のプロジェクトの実施報告書、会計報告書を確認した。

[審議事項]

- (1) 2020 年度科学研究費補助金研究成果公開促進費(国際情報発信強化)採択を受けて今後の進め方について(国際情報発信強化小委員会の設置)
・交付申請書を確認し、国際情報発信強化小委員会の設置、小委員会のメンバー(米田信子(委員長)、林徹、福井直樹、渡辺己、長屋尚典、田中英理、広瀬友紀、佐々木冠)を4月にさかのぼって承認、任期を2021年3月までとすることを承認した。
- (2) 新型コロナウイルス感染拡大に伴う会費免除の可能性について
・『学生支援緊急給付金』の対象となる学生会員に対し、会費免除を行うことを決定した。
- (3) 2019 年度決算について
・2019 年度決算書について検討を行い、それを承認した。
- (4) 2020 年度予算について

- ・2020 年度予算について審議し、予算案を作成した。
- (5) 評議員選挙の選出方法の変更について
・地区別の選出を廃した日本言語学会選挙規則の改定案を作成した。
- (6) シニア会員制度について
・会員の年齢構成を考慮し、シニア会員制度の案を作成することを決定した。

——評議員会——

2020 年度第 1 回評議員会

日 時：2020 年 6 月 20 日(土) 10:00 ~ 12:30

場 所：ウェブ会議

出席者：田窪行則(会長)、奥 聡、時崎久夫、小泉政利、那須川訓也、庵 功雄、伊藤たかね、井上 優、遠藤喜雄、大津由紀雄、生越直樹、風間伸次郎、河内一博、菊地康人、窪菌晴夫、小林正人、滝浦真人、田中伸一、長屋尚典、西村義樹、野田尚史、長谷川信子、林 徹、早津恵美子、福井直樹、福井 玲、松本曜、渡辺 己、江畑冬生、呉人 恵、斎藤 衛、佐久間淳一、新田哲夫、堀江薫、有田節子、梶 茂樹、佐々木冠、定延利之、沈 力、千田俊太郎、林範彦、藤代 節、益岡隆志、宮本陽一、由本陽子、吉田和彦、米田信子、桐生和幸、塚本秀樹、辻 星児、宮崎和人、青木博史、江口 正、久保智之、下地理則(以上、評議員 54 名)

委任状：10 名

オブザーバー：上野善道(顧問)、上山あゆみ、加藤重広(会計監査委員)、伊藤さとみ(大会運営委員長)、金城由美子、早田清冷(以上、事務局委員)

[報告事項]

- (1) 今期の組織・役員について
・今期の組織・役員が資料によって確認された。
- (2) 今後の大会開催予定について
・以下の予定が報告された。

- 第161回大会（2020年秋季大会）：11月21～22日，東北学院大学（大会実行委員長：豊島孝之氏）
- 第162回大会（2021年春季大会）：（日程未定），早稲田大学（大会実行委員長：酒井 弘氏）
- 第163回大会（2021年秋季大会）：（日程未定），沖縄国際大学（大会実行委員長：西岡敏氏）
- (3) 2020年度科学研究費研究成果公開促進費について
- ・研究成果公開促進費(国際情報発信強化)に採択されたことが報告された。
- (4) 各種委員会からの報告
- ・本彙報の各委員会の項目を参照。
- (5) 事務局からの報告
1. 『言語研究』の公開入札について
6月10日に開札を行った結果，今年度も『言語研究』の印刷を中西印刷に委託することが決定した。
 2. 九州北部豪雨，台風15号，19号で被災された会員に対する会費免除について今年度も継続する。
 3. 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う学生会員の会費免除について
『学生支援緊急給付金』に申請した学生会員を会費免除の対象とする。
 4. 今年度のメルマガスケジュールについて
今年度のメールマガジンの配信予定内容を報告した。
 5. CIPLへの代表者および文献リスト作成作業について
現在，平子達也氏に依頼している文献リスト作成を，次期，新たな担当者に依頼する方向で検討する。代表者についても変更を検討するが，現時点で次回の世界言語学会議の開催地は未定である。
 6. 日本学術振興会学振賞について
内藤真帆氏(愛媛県立医療技術大学講師)を推薦した。
 7. 日本学術振興会育志賞について
該当者がなく推薦を見送ることが報告された。

8. 人間文化研究機構日本研究国際賞について
柴谷方良氏(ライス大学教授)を推薦した。
- (6) 言語の多様性に関する啓蒙・教育プロジェクト(採否)について
- ・3件の申請について，2件を採択としたことが報告された。
- (7) 2019年度言語の多様性に関する啓蒙・教育プロジェクト実施報告について
- ・2件のプロジェクトについて，提出された実施報告書および経理報告書の確認を行い，問題がなかったことが報告された。

[審議事項]

- (1) 2020年度科学研究費補助金研究成果公開促進費(国際情報発信強化)採択を受けて今後の進め方について(国際情報発信強化小委員会の設置)
- ・2020～2024年度の科学研究費補助金研究成果公開促進費(国際情報発信強化)採択を受けて，国際情報発信強化小委員会(米田信子(委員長)，林徹，福井直樹，渡辺己，長屋尚典，田中英理，広瀬友紀，佐々木冠)の設置が承認された。
- (2) 2019年度決算について【別表1参照】
- ・2019年度決算案について説明がなされた後，上山あゆみ・加藤重広会計監査委員より適正との報告があり，全会一致で原案通り承認された。
- (3) 2020年度予算について【別表2参照】
- ・2020年度予算案について検討を行った結果，全会一致で原案通り承認された。
- (4) 評議員選挙の選出方法の変更について
- ・評議員の地区別の定数割り当ての廃止について，賛成多数で承認された。ただし，選挙管理委員の選出方法については，継続審議となった。
- (5) シニア会員制度の創設について
- ・評議員より複数の提案があり，継続審議となった。

——大会運営委員会——

2020年度第1回大会運営委員会

日時：2020年4月11日（土）11:00～16:00

場所：Zoom

出席者：伊藤さとみ（大会運営委員長），宮地朝子（副委員長），江畑冬生（副委員長），林 範彦，小磯花絵，成田広樹，下地理則，星 英仁，金 廷珉，大島デヴィッド義和，柴崎礼士郎，品川大輔（大会運営委員）

[報告事項]

- (1) 第159回大会（名古屋学院大学）の終了の報告（大会運営委員長より）。
- (2) 新型コロナウイルスの感染拡大のため，第160回大会（早稲田大学）の現地開催が難しいことが大会運営委員長より報告された。

[審議事項]

- (1) 第160回大会における研究発表の採否：口頭発表のみ応募65件，口頭発表もポスター発表も可の応募21件，ポスター発表のみ応募1件から，応募要旨の審査結果に基づき，口頭発表47件，ポスター発表6件を採択。※予稿集公開前に，口頭発表に1件，ポスター発表に1件の発表辞退が生じたため，プログラムより削除。
- (2) プログラムの編成：口頭発表は8会場6本（移動10分），司会者の決定。
- (3) 開催方法：予稿集の公開を以て発表とみなすことと，発表者の任意で参加できるオンラインでの発表の場を提供することを決定。

——広報委員会——

1. 学会からのお知らせ（大会情報，論文賞，発表賞など）と学会関連情報（公募情報，研究会情報など）を随時更新した。
2. 新年度になり役員に変更があったため，「トップ>日本言語学会について>組織・

役員など」の情報を更新した。

TwitterとFacebookで学会のアカウントの運用を開始した。

——夏期講座委員会——

- ・夏期講座委員会は，今年度8月に神戸大学にて開催を予定していた夏期講座を，新型コロナウイルス感染拡大のため中止とした。次回は2022年に東北大学での開催を予定している。

——倫理委員会——

- (1) 倫理委員会の委員の任期は1年間であり毎年度4月と10月に半数改選となる。2020年4月に新委員として，伊藤たかね，江畑冬生，柏野和佳子，八亀裕美の4名が加わった。
- (2) 2020年5月7日に，学会員1名より，『言語研究』の編集過程についての相談が倫理委員会宛に提出された。これは，学会HPに掲載されている「倫理委員会への相談窓口」に示されている手続きによるものである。これを受けて，5月9日から相談担当者1名による聞き取り調査をはじめ，5月11日に第1回倫理委員会をメール審議にて開始した（2020年5月19日まで）。

出席者：田窪行則（委員長），早津恵美子（副委員長），伊藤たかね，江畑冬生，柏野和佳子，笹栗淳子，松井理直，八亀裕美

相談者からの申し立て事項，聞き取り調査の結果などをもとに慎重に審議を重ね，検討結果報告書を作成し，2020年5月20日に会長に提出した。会長から関係部門に報告書の内容に基づき事態改善の指示がなされた。

- (3) 上の(2)と同じ相談者から2020年7月27日に，事態が改善されないことについてあらためて倫理委員会に相談が寄せられた。7月28日～8月2日にメールおよびオンライン会議システムによ

て相談担当者2名で聞き取り調査を行うとともに、2020年7月29日からメール審議により検討を始めている。(出席者は(2)と同じ)

- (4) 上の審議の過程で、種々の相談内容に対応するためには現在の倫理委員会内規が必ずしも十分に機能しないことが明らかになり、改正にむけての検討を始めている。現在の委員会の任期中に改定作業を終える予定である。

——事務局——

2019年度会計監査

日 時:2020年5月21日(木)～6月12日(金)

場 所:関係書類の回覧による監査

緊急事態宣言による移動制限のため、関係書類を会計監査委員である上山あゆみ氏、加藤重広氏に順次郵送した上で、2019年度決算書と関係書類について監査が実施された。

【別表 1】2019 年度日本言語学会決算

自 2019 年 4 月 至 2020 年 3 月 (単位：円)

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
会 費	12,518,000	刊 行 費	2,146,320
雑 誌 売 上	1,386,000	発 送 費	315,222
科学研究費補助金	0	事 務 委 託 費	4,447,200
科学研究費補助金利息	0	大 会 関 係 費	1,883,222
預 金 金 利	543	評 議 員 会 費	209,100
大会関係収入	2,027,625	常 任 委 員 会 費	640,120
広 告 料	0	編 集 委 員 会 費	51,700
寄 付 金	0	大 会 運 営 委 員 会 費	545,890
雑 益	5,220	広 報 委 員 会 費	306,900
基金から繰入	0	夏 期 講 座 委 員 会 費	108,182
夏期講座準備金返納	0	学 会 賞 選 考 委 員 会 費	0
		倫 理 委 員 会 費	47,080
		事 務 局 費	931,200
		学 会 賞 費	183,511
		多 様 性 プ ロ ジ ェ ク ト (公 募 型) 費	988,760
		夏 期 講 座 経 費	0
		言 語 系 学 会 連 合 費	50,000
		C I P L 負 担 金	120,000
		C I P L 言 語 学 文 献 一 覧 編 集 補 助 費	74,100
		通 信 費	545,233
		消 耗 品 費	193,484
		雑 費	511,100
		名 簿 作 成 費	0
		選 挙 関 係 費	0
		税 理 士 顧 問 料	339,200
		法 人 税	70,000
		予 備 費	46,760
		(基金への繰入)	
		選 挙 関 係 積 立 金	200,000
		多 様 性 プ ロ ジ ェ ク ト (公 募 型) 積 立 金	500,000
		夏 期 講 座 積 立 金	500,000
		情 報 保 障 関 係 積 立 金	500,000
収 入 合 計	15,937,388	支 出 合 計	16,454,284
前 期 繰 越 金	8,873,001	次 期 繰 越 金	8,356,105
計	24,810,389	計	24,810,389

◇収入内訳（単位：円）

会費

国内通常会員	10,850,000
国内維持会員	30,000
国内学生会員	936,000
国内団体会員	455,000
国内賛助会員	30,000
在外通常会員	189,000
在外学生会員	28,000
合 計	12,518,000

雑誌売上

書店販売	1,386,000
松香堂書店（取り次ぎ業務委託）	1,108,800
丸善雄松堂	151,200
紀伊國屋書店	107,100
その他書店	18,900
事務局販売	0
合 計	1,386,000

科学研究費補助金

0

科学研究費補助金利息

0

預金金利

543

大会関係収入

大会参加費	1,845,000
158 回大会	1,065,000
159 回大会	780,000
大会出店料	170,000
158 回大会 1 スペース 2 日（7 社）	70,000
2 スペース 2 日（1 社）	20,000
159 回大会 1 スペース 2 日（6 社）	60,000
2 スペース 2 日（1 社）	20,000
予稿集売上	0
託児関係収入	12,625
合 計	2,027,625

広告料

0

寄付金

0

雑益

5,220

『言語研究』155号 国内発送費 前年度未払金過計上分

基金から繰入

0

夏期講座準備金返納

0

◇支出内訳（単位：円）

刊行費	印刷部数 各号共に2,000部			
	内 訳	156号 (184 p.)	157号 (200 p.)	計 (384 p.)
印刷費		1,012,000	1,100,000	2,112,000
抜刷代		17,160	17,160	34,320
合 計		1,029,160	1,117,160	2,146,320

※組版・校正料は印刷費に含む

発送費

『言語研究』一斉発送費	156号	157,611
	157号	157,611
合 計		315,222

事務委託費

4,447,200
 2019年4月分～2020年3月分
 日本言語学会と中西印刷株式会社により交わされた事務委託内容の覚書に基づく業務の代金

大会関係費

内 訳	第158回	第159回	計
プログラム印刷費	194,400	110,000	304,400
予稿集作成費	189,810	212,025	401,835
その他印刷費 / 備品	88,906	70,278	159,184
プログラム発送費	165,148	171,810	336,958
その他発送費	16,598	11,516	28,114
大会費	198,455	68,163	266,618
講師謝金等	40,000	110,894	150,894
託児関係費	76,277	25,656	101,933
手話通訳謝礼	28,066	23,420	51,486
大会実行委員長経費補助	30,000	30,000	60,000
ノートテイキング補助	0	0	0
応募フォーム管理費	10,800	11,000	21,800
合 計	1,038,460	844,762	1,883,222

評議員会費

会議費（年2回） 209,100

常任委員会費

旅費（年2回）	638,500
会議費（年1回）	1,620

合 計	640,120
-----	---------

編集委員会費

J-STAGE 投稿査読システム費	51,700
-------------------	--------

大会運営委員会費

旅費（年2回）	447,070
会議費（年2回）	38,820
プログラム作成謝金	60,000

合 計	545,890
-----	---------

広報委員会費

ホームページ保守管理委託費	165,000
英文校閲費	21,900
webmaster 経費補助	120,000

合 計	306,900
-----	---------

夏期講座委員会費

旅費	108,182
----	---------

学会賞選考委員会費

0

倫理委員会費

旅費	47,080
----	--------

事務局費

旅費（会計監査、事務局委員出張、夏期講座打ち合わせ）	324,720
会議費（会計監査）	6,480
事務局長、事務局委員活動費	600,000

合 計	931,200
-----	---------

学会賞費

論文賞副賞	50,000
発表賞副賞	118,480
金封・賞状用紙	15,031

合 計	183,511
-----	---------

多様性プロジェクト（公募型）費	988,760
夏期講座経費	0
言語系学会連合費	50,000
CIPL 負担金	120,000
CIPL 言語学文献一覧編集補助費	74,100
通信費	
切手購入、通常発送費	23,233
みずほ銀行ビジネス Web 使用料	39,180
会費請求送料	127,566
会費督促送料	17,556
オンラインクレジット決済手数料	186,656
自動引落手数料	52,039
送金手数料	65,296
残高証明発行手数料	1,506
『言語研究』追加・抜刷・バックナンバー送料	31,171
その他	1,030
合 計	545,233
消耗品費	
振替用紙印刷費	45,842
封筒印刷費	99,780
事務処理票印刷費	13,750
ジフリくん（自動引落データ管理ソフト）	33,000
事務用品費	1,112
合 計	193,484
雑費	511,100
前年度決算未計上額（『言語研究』155 印刷代・封筒代一部）	
税理士顧問料	
顧問料	196,200
年末調整・法定調書作成	33,000
決算料	110,000
合 計	339,200

法人税	
法人市民税	50,000
法人府民税	20,000
<hr/>	
合 計	70,000
予備費	
日本学術振興会賞推薦書籍購入・資料コピー代	46,760
基金への繰入	
選挙関係	200,000
多様性プロジェクト（公募型）	500,000
夏期講座	500,000
情報保障関係	500,000
<hr/>	
合 計	1,700,000

◇ 2019 年度決算 予算・実績対照表

収入 (単位：円)

科目	予算	実績	対予算差異
会費	12,000,000	12,518,000	518,000
雑誌売上	600,000	1,386,000	786,000
科学研究費補助金	0	0	0
科学研究費補助金利息	0	0	0
預金金利	500	543	43
大会関係収入	1,700,000	2,027,625	327,625
広告料	0	0	0
寄付金	0	0	0
雑益	0	5,220	5,220
基金から繰入	0	0	0
夏期講座準備金返納	0	0	0
収入合計	14,300,500	15,937,388	1,636,888
前期繰越金	8,873,001	8,873,001	0
合計	23,173,501	24,810,389	1,636,888

支出 (単位：円)

科目	予算	実績	対予算差異
刊行費	3,000,000	2,146,320	853,680
発送費	400,000	315,222	84,778
事務委託費	4,406,400	4,447,200	△ 40,800
大会関係費	4,000,000	1,883,222	2,116,778
評議員会費	300,000	209,100	90,900
常任委員会費	900,000	640,120	259,880
編集委員会費	700,000	51,700	648,300
大会運営委員会費	800,000	545,890	254,110
広報委員会費	500,000	306,900	193,100
夏期講座委員会費	200,000	108,182	91,818
学会賞選考委員会費	250,000	0	250,000
倫理委員会費	500,000	47,080	452,920
事務局費	900,000	931,200	△ 31,200
学会賞費	200,000	183,511	16,489
多様性プロジェクト(公募型)費	1,000,000	988,760	11,240
夏期講座経費	0	0	0
言語系学会連合費	50,000	50,000	0
C I P L 負担金	120,000	120,000	0
C I P L 言語学文献一覧編集補助費	200,000	74,100	125,900
通信費	800,000	545,233	254,767
消耗品費	350,000	193,484	156,516
雑費	0	511,100	△ 511,100
名簿作成費	0	0	0
選挙関係費	0	0	0
税理士顧問料	334,800	339,200	△ 4,400
法人税	70,000	70,000	0
予備費	1,492,301	46,760	1,445,541
(基金への繰入)			
選挙関係積立金	200,000	200,000	0
多様性プロジェクト(公募型)積立金	500,000	500,000	0
夏期講座積立金	500,000	500,000	0
情報保障関係積立金	500,000	500,000	0
支出合計	23,173,501	16,454,284	6,719,217
次期繰越金	0	8,356,105	△ 8,356,105
合計	23,173,501	24,810,389	△ 1,636,888

◇資産勘定

2020年3月31日 (単位:円)

借方	金額	貸方	金額
事務支局		前受会費	
現金	24,521	国内通常	56,000
みずほ銀行口座	9,000,697	国内学生	12,000
郵便振替口座	331,476	在外通常	7,000
		在外学生	4,000
未収金*	1,108,800	未払金**	2,020,171
		源泉税預り金	10,218
		次期繰越	8,356,105
計	10,465,494	計	10,465,494

* 未収金は当該年度内の収入の回収が間に合わなかった場合の科目。

2019年度決算の未収金の内訳は以下の通り。

内 訳	金額
雑誌売上 (松香堂分)	1,108,800
合 計	1,108,800

** 未払金は当該年度内の支出が間に合わなかった場合の科目。

2019年度決算の未払金の内訳は以下の通り。

内 訳	金額
『言語研究』157号印刷費	1,100,000
『言語研究』157号抜刷代	17,160
『言語研究』157号発送費	157,611
『言語研究』157号封筒代	26,400
事務委託費3月	374,000
ホームページ保守管理委託費	165,000
税理士決算料	110,000
法人税	70,000
合 計	2,020,171

◇基金 決算

基金 損益計算書 (単位：円)

取 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
期首特別会計（前期繰越）	9,305,244	一般会計へ支出	0
一般会計から繰入	1,700,000		
定期預金金利	325		
収入合計	11,005,569	支出合計	0
		次期繰越金	11,005,569
計	11,005,569	計	11,005,569

基金 資産勘定 2020年3月31日 (単位：円)

借 方	金 額	貸 方	金 額
みずほ銀行定期預金口座	7,200,000	積立金	11,005,569
京都銀行定期預金口座	3,805,569		
計	11,005,569	計	11,005,569

○基金内訳（目的別） 2020年3月31日 (単位：円)

記念大会積立金	1,000,750
夏期講座積立金	3,301,039
危機言語プロジェクト積立金	703,030
e-ジャーナル積立金	2,500,750
言語学普及積立金	500,000
多様性プロジェクト（公募型）積立金	2,300,000
選挙積立金	200,000
情報保障関係積立金	500,000

計 11,005,569

○基金内訳（銀行別）

2020年3月31日（単位：円）

銀行名	預かり番号	名目	金額
京都銀行	003	記念大会積立金	1,000,750
みずほ銀行	051	夏期講座積立金	700,000
みずほ銀行	065	〃	500,000
みずほ銀行	067	〃	200,000
みずほ銀行	069	〃	500,000
京都銀行	005	〃	1,401,039
みずほ銀行	039	危機言語プロジェクト積立金	300,000
京都銀行	001	〃	403,030
京都銀行	004	e-ジャーナル積立金	1,000,750
みずほ銀行	044	〃	500,000
みずほ銀行	037	〃	1,000,000
みずほ銀行	047	言語学普及積立金	500,000
みずほ銀行	050	多様性プロジェクト（公募型）積立金	300,000
みずほ銀行	059	〃	500,000
みずほ銀行	064	〃	500,000
みずほ銀行	066	〃	500,000
みずほ銀行	068	〃	500,000
みずほ銀行	070	選挙関係積立金	200,000
みずほ銀行	071	情報保障関係積立金	500,000
計			11,005,569

【別表2】 2020年度日本語学会予算

自 2020年4月 至 2021年3月

(単位：円)

取 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
会 費	12,000,000	刊 行 費	4,200,000
雑 誌 売 上	600,000	発 送 費	400,000
科学研究費補助金	3,500,000	事 務 委 託 費	4,406,400
科学研究費補助金利息	0	大 会 関 係 費	3,000,000
預 金 金 利	500	評 議 員 会 費	200,000
大会関係収入	1,000,000	常 任 委 員 会 費	500,000
広 告 料	0	編 集 委 員 会 費	1,500,000
寄 付 金	0	大 会 運 営 委 員 会 費	500,000
雑 益	0	広 報 委 員 会 費	1,000,000
基金からの繰り入れ	0	夏 期 講 座 委 員 会 費	200,000
夏期講座準備費返納	0	学 会 賞 選 考 委 員 会 費	250,000
		倫 理 委 員 会 費	500,000
		国 際 発 信 力 強 化 小 委 員 会 費	800,000
		事 務 局 費	900,000
		学 会 賞 費	200,000
		多 様 性 プ ロ ジ ェ ク ト (公 募 型) 費	1,000,000
		夏 期 講 座 経 費	645,000
		言 語 系 学 会 連 合 費	50,000
		C I P L 負 担 金	120,000
		CIPL 言語学文献一覧編集補助	200,000
		通 信 費	900,000
		消 耗 品 費	350,000
		雑 費	0
		選 挙 関 係 費	900,000
		税 理 士 顧 問 料	334,800
		法 人 税	70,000
		予 備 費	830,405
		(基 金 へ の 繰 入)	
		選 挙 関 係 積 立 金	0
		多 様 性 プ ロ ジ ェ ク ト (公 募 型) 積 立 金	500,000
		夏 期 講 座 積 立 金	500,000
		情 報 保 障 関 係 積 立 金	500,000
		基 金 預 け 替 え	0
取 入 合 計	17,100,500	支 出 合 計	25,456,605
前 期 繰 越 金	8,356,105	取 支 差 額 (次 期 繰 越 金)	0
合 計	25,456,605	合 計	25,456,605

第 160 回大会

期日 2020年6月20日(土)・21日(日)(当初の予定)

会場 オンライン(日本語学会HP)

口頭発表

◦A会場

- | | | |
|------|--|----------------|
| (A1) | 初期サンスクリットにおける印欧祖語の音節核鼻音 * η と喉音 * H の連続の反映 | 塚越 柚季 |
| (A2) | 共通スラヴ語における印欧祖語 *-os の反映形：屈折体系の変化に着目した説明 | 大山 祐亮 |
| (A3) | 西夏文字の、ある「5画」部首の再分類 | 荒川慎太郎 |
| (A4) | アイク語(パプア・ニューギニア)の音素体系の記述 | 山本 恭裕 |
| (A5) | 複合形容詞への強調促音挿入における音韻効果と形態効果—二肢強制選択課題による検討— | 近藤 森音
伊藤たかね |
| (A6) | 長音と促音の知覚における隣接要素の持続時間及び音韻長の影響：発話速度の観点から | 石橋 頌仁
竹安 大 |

◦B会場

- | | | |
|------|---|---|
| (B1) | 日本語 <i>wh</i> 疑問文における文法性の錯覚と記憶処理—文読解中の視線計測実験— | 峰見 一輝
広瀬 友紀
伊藤たかね |
| (B2) | コントロール構造の文処理をコントロールする要因について | 有賀 照道
津村 早紀
曹 瑞
福田 建
広瀬 友紀
佐藤 らな |
| (B4) | 名詞が程度性を持つとき—N すぎる構文を通して | Yuki A. SEO |
| (B5) | A movement account of the Japanese verbal suffix <i>-sugi</i> | Zhonglin SANG |
| (B6) | On the discourse functions of the [<i>yào shì</i> + P + <i>ne?</i>] structures in Chinese -A functionalist perspective- | |

◦C会場

- | | | |
|------|---|-------------------------------|
| (C1) | “wh-mo” の統語・音韻的認可 | 田村 惇 |
| (C2) | 空範疇の探索可能性：探索する空範疇と探索される空範疇 | 北田 伸一 |
| (C3) | (Non-)Restrictiveness of numerals and word order | Atsushi OHO |
| (C4) | Why Scrambling and Argument Ellipsis?: Two Asymmetries between Japanese and English | Koji SHIMAMURA |
| (C5) | A Phase-based Approach to the High and Low Behaviors of Adverbs in Japanese | Kaori MIURA
Tomohiro FUJII |
| (C6) | フェイズの決定要因について | 作元 裕也 |

◦ D 会場

- | | | |
|------|--|--|
| (D1) | 壮年期日本語母語話者のかき混ぜ文聴覚理解における処理負荷—事象関連電位を指標として— | 葛西 有代
木山 幸子
新国 佳祐
時本 真吾
汪 敏
宋 歌
程 鸚雅
上埜 高志
小泉 政利 |
| (D2) | 日本語の間接的断りにおける共話的中途終了発話の理解：事象関連電位による母語話者と非母語話者の検討 | 汪 敏
時本 真吾
宋 歌
宋 凌鋒
上埜 高志
小泉 政利
木山 幸子 |
| (D3) | 日本語のかき混ぜ文における filler-gap 依存関係の処理—持続的な脳活動は何を反映しているのか— | 矢野 雅貴 |
| (D4) | 失語症者における指示代名詞の理解 | 河端 梓
星 英仁 |
| (D5) | 子どもの言語理解能力の発達と抑制機能の関係性 | 津村 早紀
新井 学
馬塚れい子 |
| (D6) | 日本語における分裂文の談話機能について | 今村 怜 |

◦ E 会場

- | | | |
|------|---|---------------|
| (E1) | 韓国語の目的語保持型受身—身体とはどのようなものか— | 鄭 宇鎮
田中 太一 |
| (E2) | 漢越語の形態統語的特徴：特殊な文法的特徴は借用されるのか？ | 高橋 康德 |
| (E3) | 偏重トリリンガルの言語制御言語切り替え課題における言語手がかりの時間差呈示を通じて | 張 映洙 |
| (E4) | アラビア語チュニス方言の「情報的に余剰な与格」 | 熊切 拓 |
| (E5) | オリア語における、類別詞付き名詞句に関わる格制約 | 山部 順治 |

◦ F 会場

- | | | |
|------|--|----------------|
| (F1) | ドイツ語の虚辞 es の統語論：Phase cancellation による分析 | 伊藤 克将 |
| (F2) | ドイツ語における 3 人称中性代名詞 es に関する研究：摘出の可能性の観点から | 坂本 祐太
戸川 琴貴 |
| (F3) | On the semantic contribution of the German discourse particle <i>wohl</i> embedded under attitudes | Shinya OKANO |
| (F4) | ウェールズ語の非人称文と非人称の類型論的考察 | 浅野 千咲 |
| (F5) | ゾゾ語の非意図的授与動詞構文と類型論的分析 | 宮岸 哲也 |
| (F6) | トルコ語における数量を表す重複構文 | 鈴木 唯 |

◦ G 会場

- | | | |
|------|---|--------------------|
| (G1) | 現代日本語形容詞の多義区分に対する言語学的テストの有効性
—語彙・文法・論理テストから— | 西内 沙恵 |
| (G2) | 統語的に形成される述語名詞について | 新山 聖也 |
| (G3) | 英語における道具主語文の同定機能—日英対照の観点から— | 石川 和佳 |
| (G4) | アカン語における自然発生的状態変化を表す動詞の構文交替 | 古閑 恭子 |
| (G5) | パピアメント語の進行表現における TAM 標識 ta の機能 | パトリシア・ハレラ・
アムロン |
| (G6) | インドネシア語における接頭辞 ter- と共起する接尾辞 kan について | 佐近 優太 |

◦ H 会場

- | | | |
|------|--|-------------------------|
| (H1) | 南琉球八重山語波照間方言における母音長の音韻論的解釈 | 麻生 玲子
中澤 光平 |
| (H2) | 南琉球与那国方言における動詞のアクセント交替の共時的・通時的分析 | 中澤 光平 |
| (H3) | 南琉球宮古語多良間仲筋方言における「複合アクセント法則」の再検討 | セリック・ケナン |
| (H4) | 南琉球宮古語新城方言における再帰代名詞 duu と nara の使い分け | 王 丹凝 |
| (H5) | 沖縄語金武方言における格助詞ガ・ヌの分布 | 金城 國夫 |
| (H6) | 「名詞+ (が ^s + (XP ⁺) (で) ある」型複雑述部における主格助詞の随意性について | 小川 芳樹
新国 佳祐
和田 裕一 |

ポスター発表

- | | | |
|------|---|---------------|
| (P1) | 発表者の事情により、発表取り消しとなりました。 | |
| (P2) | シネクドキにおける意味の弾性と解釈プロセスとの関わりをめぐって | 岩橋 一樹 |
| (P3) | 追隨的疑問における伴立：「それも」の談話構造的分析 | 大久保 弥 |
| (P4) | 日本・中国・韓国・米国の母国語・外国語教育における「目的語」の扱い方についての比較研究 | 中村 真子
牧 秀樹 |
| (P5) | 接続助詞による統語構造の予測 | 福田 建 |
| (P6) | サラール語の疑問標識 mi に関する考察 | 原 明海 |

◇退 会

国内通常会員：132 名
在外通常会員：12 名
国内維持会員：1 名
国内学生会員：51 名
在外学生会員：5 名
国内団体会員：2 名
203 名

◇入 会

国内通常会員：22 名
在外通常会員：3 名
国内学生会員：27 名
在外学生会員：2 名
54 名

2020 年度役員

【会長】

田窪行則

【顧問】

上野善道, 影山太郎, 梶茂樹, 国広哲弥,
窪蘭晴夫, 柴谷方良, 早田輝洋, 松本克己

【常任委員】

江口正, 小野尚之, 菊澤律子, 桐生和幸,
久保智之, 千田俊太郎, 中谷健太郎, 野田尚史,
福井直樹, 米田信子, 渡辺己

【事務局】

有田節子(事務局長), 金城由美子, 早田清冷

【評議員 (68名)】

[北海道] 奥 聡, 時崎久夫, 野村益寛 [東北]
小野尚之, 小泉政利, 後藤斉, 那須川訓也 [関東]
庵功雄, 石井透, 伊藤たかね, 井上優,
遠藤喜雄, 大津由紀雄, 大堀壽夫, 生越直樹,
風間伸次郎, 河内一博, 菊地康人, 北原久嗣,
工藤真由美, 窪蘭晴夫, 小林正人, 滝浦真人,
田中伸一, 長屋尚典, 西村義樹, 野田尚史,
長谷川信子, 林 徹, 早津恵美子, 福井直樹,
福井玲, 松本曜, 渡辺己 [中部] 江畑冬生,
呉人恵, 斎藤衛, 佐久間淳一, 澤田治美,
杉崎鉦司, 玉岡賀津雄, 新田哲夫, 堀江薫,
町田健 [近畿] 有田節子, 梶茂樹, 金水敏,
佐々木冠, 定延利之, 沈 力, 千田俊太郎,
林範彦, 藤代節, 益岡隆志, 宮本陽一, 由本
陽子, 吉田和彦, 米田信子 [中国・四国]
桐生和幸, 塚本秀樹, 辻星児, 宮崎和人,
和田学 [九州・沖縄] 青木博史, 江口正,
狩俣繁久, 久保智之, 下地理則

【編集委員会】

井上優(委員長), 青柳宏, 井川壽子, 岸本秀樹,
小林正人, 佐々木冠, 定延利之, 鍋島弘治朗,
藤井洋子, 由本陽子, 米山聖子

【特別編集委員】

(未定)

【大会運営委員会】

伊藤さとみ(委員長), 江畑冬生,
大島デヴィッド義和, 金廷珉, 小磯花絵,
品川大輔, 柴崎礼士郎, 下地理則, 成田広樹,
林範彦, 星英仁, 宮地朝子

【広報委員会】

小泉政利(委員長), 石田尊(英語ページ
webmaster), 那須川訓也, 広瀬友紀, 藤本
真理子, 堀博文(危機言語担当), 松浦年男(日
本語ページ webmaster)

【夏期講座委員会】

渡辺己(委員長), 内堀朝子, 木山幸子,
田中真一, 千田俊太郎, 本多啓

【学会賞選考委員会】

久保智之(委員長), 庵功雄, 江口正, 桐生和幸,
中谷健太郎, 福井直樹, 松本曜

【倫理委員会】

田窪行則(委員長), 早津恵美子(副委員長),
伊藤たかね, 江畑冬生, 柏野和佳子, 笹栗淳子,
定延利之, 松井理直, 八亀裕美

【国際情報発信強化小委員会】

米田信子(委員長), 佐々木冠, 田中英理,
長屋尚典, 林 徹, 広瀬友紀, 福井直樹,
渡辺 己

【会計監査委員】

上山あゆみ, 加藤重広